

令和5年度「第2回校内防災訓練」アンケート結果【令和5年11月30日（木）実施】

問1 今回の校内防災訓練について良かった点について答えて下さい。

<生徒>

- ・実際に、消火器の使い方を消防の人に教えてもらい、みんなが使い方を分かることができたので良かった。
- ・全員、詰まることなくスムーズに脱出することが出来ていたこと。
- ・頭を一番に守ろうとしていた。
- ・避難する際に気をつけることを知ることができたから良かった。
- ・命を守る行動ができた。
- ・みんな、先生が言う前に机の中に隠れていたこと。
- ・みんなが周りを見て迅速に行動していた。
- ・音や避難ルートがリアルに再現されていて良かった。
- ・『おかしも』を守って安全に避難することができた。
- ・急いで逃げた。丁寧に階段や廊下を走った。
- ・死人が出なかったこと。
- ・来られた方の話が分かりやすく、良い話だった。
- ・臨場感があって良かった。
- ・一部を除いて移動が早かった。
- ・実際に起きたような訓練だった。
- ・慌てず避難できたこと。
- ・素早く行動できたので良かった。
- ・避難する際にふざけている人がいなかった。
- ・安全に怪我なく落ち着いて避難できた。
- ・靴箱の方から出られず、本当のようだったこと。
- ・煙を炊いて通路を制限していたところ。
- ・静かに行動できた。
- ・防災についてよく知れた。
- ・判断が早かった。
- ・みんなが必死に避難していた。
- ・実践的な訓練だったこと。
- ・真剣に取り組めた。
- ・予想外の事態が起きたこと。
- ・クラスメートがちゃんと対応していたので良かった。
- ・突然サイレンがなって、本当に火事があった時みたいな感じでやれたこと。
- ・シャッターが閉まっているのは今回が初めてだったため、リアルで良いと思いました。
- ・本など頭を守るものは、頭から少し離して頭をカバーした方が良いということが分かった。
- ・しっかり机の下に体を全部入れることができ、避難するとき頭を教材で守り、階段は一段ずつ降りる事ができた。
- ・実習中で机がない状態での身の安全の守り方について理解できた。

- ・倒れそうなものから離れた。
- ・机に隠れるときにしっかり頭を守って机の脚を掴むことができた。
- ・いつもとは違いシャッターが閉まっていたけど、その後、臨機応変に違うルートで避難できたところ。
- ・防災意識の確認ができた。
- ・いつ起こるか知らされなかったことが実践的で良かった。
- ・放送がかかってすぐに、机の下に頭を隠した点。
- ・問題が起きたときの対処法などを実行することができていて良かった。
- ・訓練自体が本格的だった。
- ・逃げるときの実際の逃げ道を理解すること。
- ・実際に煙を炊いていることによって、緊張感のある訓練だったと思う。
- ・身の守り方を再確認できた。
- ・安全確認をしながら避難できた。
- ・いつもと違うルートで避難をしなくてはならないこと。
- ・防火壁などが閉まったときの避難の仕方が分かったこと。
- ・全員集合できた。
- ・実際に人がいなくなったりしたのは良いかなと思った。
- ・避難指示があったあと速やかに避難できたこと。
- ・災害時に正しい対応ができる。
- ・グラウンド集合まであったところ。

<教職員>

- ・生徒がいなくなり、いつもとは違う状況が生じた。
- ・テキパキと移動できていたこと。
- ・想定外に東側の防火扉シャッターが下りていて、経路を変更した。階段が混雑していても、先で何が起こっているのか、後ろまで伝達できていなかったけれど、とにかく校舎から早く出るという判断ができた。
- ・アドバイザーから具体的な注意をしていただけたこと。
- ・頭をノート等で押さえながら避難していた。
- ・スモークマシンと、いつもと違う迂回した避難経路が臨機応変で良かった。
- ・シャッターが閉まるなど想定外のことが起きましたが、訓練のうちにそれが確認できたことが生徒だけでなく職員にとっても良かった点ではないかと感じた。
- ・防火シャッターや不明者などが訓練で出て逆に良かったと思った。実践的な避難訓練ができたと感じた。
- ・スモークが出たり、防火扉が閉まったり、本番さながらだった点。
- ・日時をはっきり把握させないのは、よりリアルな訓練になったのではないかと思った。また、今回の訓練で課題を見つけることができたことは良かったと思う。

問2 今回の校内防災訓練について改善した方が良いところについて答えて下さい。

<生徒>

- ・ふざけていた人がいた。
- ・机なしバージョンもした方が良い。
- ・私語をなくす。
- ・頭を隠しきれしていない人がいた。
- ・避難経路を把握できていなかった。
- ・寒すぎる。話が長い。
- ・階段でつままったところ。
- ・事前確認をする。
- ・何人かの避難が遅れた。
- ・喋りながら避難してしまった。
- ・安否確認に時間がかかったこと。
- ・おしりを隠すのではなくて頭を隠す。
- ・みんなが潜っているときに体を出している人がいた点。
- ・避難経路が分かりづらかった。
- ・クラスからはぐれないようにする。
- ・一人ひとりが真剣にする。
- ・逃げ道を増やすこと。
- ・避難した後の会話が大きく、指示が通りにくかった。
- ・寒い中、長い時間外で待つところ。
- ・机の下に隠れる時は頭を守る。
- ・防災に興味を持つこと。
- ・日にちを知らせて欲しい。
- ・グラウンドに集合した際、座らなくても良いと思う。
- ・頭をしっかり守っているかどうか確認する。
- ・先生が教室に来て指示する。
- ・安否確認ができなかった。
- ・避難が遅かった。
- ・ノートを頭にくっつけたままだったので、今日の話にあったように頭からノートを離せるようにしたい。
- ・安否が分からない生徒がいたので、全員が素早く避難する。
- ・避難経路の事前確認。呼びかけながらの避難。
- ・頭を守るものがなかった。
- ・防火シャッターが閉まっていたとき、どうすれば良いか分からなかった。
- ・もう少し実践的な避難訓練をしたら良いと思う。
- ・まだ緊張感がない。
- ・みんな同じ場所から逃げようとしていたので、つまらないように学校の地形を把握しておく。
- ・人が溢れかえっていたので、もっと効率的に。
- ・生徒がいなかったとき、探しに行くための判断が遅かったところ。

- ・地震のときに渡り廊下を通ること。
- ・もう少し話を簡潔にして欲しかった。
- ・机の下に隠れるときにしっかり頭を隠したり、机を抑えること。
- ・少しでも安全になる行動をする。
- ・放送の音を大きくした方が良い。
- ・どのルートを通して避難すれば良いか分からなかった。
- ・スカートだとしゃがんだときに汚れるので、事後指導は体育館などで行って欲しい。
- ・どこで火災が起きたかの放送をした方が良かった。
- ・生徒の安否確認の遅さ。
- ・避難するときに私語をしている人や本などで頭を守っていない人がいた。
- ・今回初めて防火シャッターが落ちてみんなパニックになった。
- ・完全抜き打ちでも良いと思う。
- ・避難できるところを増やす。
- ・火元がどこか言っていない。
- ・防火シャッターが閉まることを知らなかった。
- ・運動場に行く道中で混雑していた。
- ・事前にどこの防火シャッターが閉まるかなど、皆が知っておけばもっとスムーズに避難できた。
- ・渡り廊下に入ったときに頭を守るのをやめていたところ。
- ・静かに口をハンカチなどで覆いながら移動する。
- ・人数確認をもう少し早くする。
- ・避難経路が塞がっていたりするときはすぐに別のルートから逃げる。
- ・「訓練だから」と少しダラダラしてしまうこと。
- ・話にもあった通り、頭と首筋を隠し避難する。
- ・防災意識が低い。
- ・火事が起こった時は防火シャッターが閉まることを事前に知らせる。
- ・座ったまま待たされると足が痛くなる。
- ・スリッパを洗う場所は機械科の靴箱だけじゃ時間が足りないし詰まるから、靴箱が2か所あるから2か所とも使って良いと思う。

<教職員>

- ・生徒がいない場合の決断を下す者が誰なのか改善すべき。
- ・地震時の初期対応について（机の下に隠れる際の隠れ方）認識が甘い部分があったので、周知徹底すること。
- ・スリッパを拭くマット（雑巾？）は2か所欲しい。
- ・生徒の安否確認が遅れたことについての検証が必要。
- ・避難できていなかった生徒等への職員の対応。
- ・更衣（体育や実習）で遅れる生徒やトイレにいて避難訓練に気づかない生徒がいた。これはなかなか対応が難しい。
- ・地震の影響でドアが開かなくなることが予想されるため、教室などのドアを開けておく必要がある。

- ・一部の生徒が、訓練のことを知っていたので（職員が教えてしまったのではないと思うが）、関係職員以外の職員も知らされていないブラインド型訓練も試してみたいのかなと思った。
- ・スモークを焚く場所を防災関係の先生方以外は職員も知らないという状況にすると、職員も考えて指示を出すことができるなと思った。
- ・未確認生徒の捜索方法
- ・生徒が確認できていない時点で、職員での情報共有が必要だった。また、どの職員がどこを探しに行くかを把握しておかなければ、職員の身に危険が及んだ時に救助できないと思う。職員の数把握はどなたがされているのか。

問3 どういうシチュエーションであれば、よりリアルな訓練ができるか教えて下さい。

<生徒>

- ・訓練と言わない。
- ・避難経路の制限、行き止まりにする。
- ・実際にあったことなどを取り入れる。
- ・昼休みや休み時間、登下校時、実習や部活動時などにいきなりやる。
- ・避難中の負傷者の搬送などを追加する。
- ・いろいろな場所での避難訓練。
- ・どこで何が起きたか放送する。
- ・実際に火災を発生させたり、実際に起こったことを取り入れる。
- ・火災報知器が作動するレベルの煙を焚く。
- ・複数箇所での火事。
- ・お腹が痛くてトイレに籠ったときのシチュエーション。
- ・今回のような煙の使用。
- ・もっと緊迫感を持てるようにする。
- ・先生達も知らない状態ですれば良い。
- ・訓練があることを伝えない方が、リアリティーがある。
- ・実際に消火器を使う。
- ・事前告知しない避難訓練。
- ・防災設備を使う。
- ・どこで何が起きたか放送する。
- ・今回のようにする。
- ・いきなり放送やサイレンが鳴る。
- ・不審者に対しての避難。
- ・防災週間じゃない日にもする。
- ・実習中に災害が発生するシチュエーション。
- ・先生たちが叫ぶなど大人が緊張感を持って行う。
- ・火災現場を2か所などに増やす。
- ・グラウンドの半分しか使えない状況がよりリアルな訓練ができると思う。
- ・逃げる場所が少ないところとする。
- ・一人ひとりが集中しないと厳しいと思う。

- ・机など頭を守るものがない場合の訓練を行う。
- ・階段や廊下が使えない。
- ・先生がガチっぽい雰囲気を出す。
- ・人が倒れている。
- ・避難の際に消火器を使った訓練をする。
- ・今回の訓練が一番リアル。
- ・教室のできるだけ近くで煙、火が出たという想定での訓練。
- ・授業中しかしたことがないので実習中にもしてみたい。また、事前にあると言われてすぐしているの、一週間ぐらいあけるか事前に言わない方が良いのではないかと思った。
- ・怪我している人を助ける。
- ・地震で渡り廊下が崩れるという想定での訓練。
- ・どこで火事があったのか、通れないのかを放送で伝える。
- ・実際に避難の時のベルの音を流す。
- ・天井が落ちてくる、棚が倒れる、瓦礫をおくなどして避難訓練する。
- ・不審者避難訓練をしたい。
- ・近くに住んでいらっしゃる住民の方とも訓練をすると良いと思った。
- ・一人ひとりの防災に対する意識を変える必要がある。
- ・昇降口の他にも出入り口を塞ぐ。

<教職員>

- ・昼休みに実施する。
- ・仮に化学室が火元である場合、常駐者はいないので、1階の授業担当者が発見者になる可能性が高い。第一発見者を授業者の誰かにしたらどうか。
- ・いつも授業の終わり間際だから、設定時間を変更してはどうでしょうか。
- ・今回のように防火シャッターが閉まってしまい、戸惑うぐらいの事があるぐらいが良いかと。
- ・リアルさを求めて、偶発的な事故が起きると本末転倒なので現状が良いのでは。
- ・職員も生徒も周知されていない訓練の方がより災害時に近い訓練ができるのではないかと思う。
- ・今回2名の生徒の安否確認が取れなかったが、実際はそのようなことも起こりえると思った。その際には全員で職員が探しに行くのか、それとも担当者を決めておくのかなどリアルに考えることができた。
- ・色々な場面を想定して例えば、窓を外しておいて外へ出るなどの練習も良いのではないかと考える。
- ・火を消火器で火を消す訓練もあると良いと思った。